

## NAVERプレスリリース

NAVER JAPANの公式報道発表資料です。  
本資料は公式ブログ(<http://naverland.naver.jp>)でも確認できます。



### NAVER、キュレーションプラットフォーム「NAVER まとめ」を刷新

作成機能・操作性を大幅見直し、Twitter もまとめの対象に  
「情報をデザインする。」を新たなコンセプトにヤフトピの先を目指す

インターネット検索サービス「NAVER (ネイバー)」(<http://www.naver.jp>)を運営するネイバージャパン株式会社(本社:東京都品川区、代表取締役:森川亮、以下ネイバージャパン)は、本日、同社が運営するキュレーションプラットフォーム「NAVER まとめ」(<http://matome.naver.jp>)の大幅な刷新を実施いたしましたのでお知らせいたします。

#### ■現状と背景

ブログやSNS、Twitter等のソーシャルメディアの普及に伴う一人当たりの情報量の増大、およびユーザーそれぞれの嗜好の細分化により、画一的な情報提供を行う従来のマス型メディアでは、多様化した情報収集・探索ニーズに応えることが難しくなっています。例えば、現在インターネット上における情報収集手段の中心となっている「Yahoo!トピックス」に代表される、特定の話題について関連するニュース記事やウェブページなどのコンテンツを整理、集約して提供する「ニュースアグリゲーションサービス」がその中心を担っていますが、①話題の対象がニュース記事に限定されてしまう、②ポータルサイトの内部編集スタッフのみが編集に参加する形式であるため、話題の選別基準は一元的にならざるを得ない、といった問題点を抱えています。

そのような状況の中、昨年より欧米を中心に、ユーザーが能動的に情報を集約・共有していく「キュレーション」という新たなインターネット上の情報フィルタリングのあり方が注目され始め、今年に入り、その必要性から国内でも様々なキュレーションサービスが登場しつつあります。

NAVERでは、そのキュレーションムーブメントの先駆けとして、2009年7月より「NAVER まとめ」の提供を開始、そして2010年10月には「NAVER まとめ」のフェーズ2として、作成ユーザーへのインセンティブ制度をもった世界的にも稀有なキュレーションプラットフォームとして刷新を行いました。その結果、作成ユーザーも当初の6倍以上に増え、サービス開始わずか18ヶ月で月間2億PVを突破し、現在も成長を続けています。

しかしながら、国内におけるキュレーションムーブメントが高まる一方、「NAVER まとめ」を含め、現在あるキュレーションサービスが「集約」「共有」というキュレーションを構成する一部分のみを実現しているに過ぎず、キュレーションの本質的な価値ともいえる集約された各情報群へ「新たなコンテキスト(文脈)」を持たせる仕組みが十分に出来ていないのではという声があったのも事実です。

#### ■リニューアル内容と今後

このような現状に対し、このたびNAVERでは、「情報をデザインする。」を新たなコンセプトに、「キュレーションプラットフォームNAVER まとめ」のフェーズ3として、特定のサイトに限らずインターネット上のあらゆる情報を対象に、収集したリンクや画像、動画、テキスト、つぶやき等の形式を超えて一つに組み合わせ、これを視覚的に整理・編集できる形へと全面刷新いたします。

具体的には、これまで「NAVER まとめ」においてユーザーが編集できるコンテンツは画像や動画、リンクなどの形式毎に制限されておりましたが、これを全撤廃し、まとめの作成ユーザーがよりコンテキスト(文脈)を表現し、そして閲覧ユーザーがよりコンテキスト(文脈)を感じやすいよう変更を行いました。また、「あらゆる情報をまとめる」という第一歩として「Twitter」をまとめの対象へ新たに追加しました。この追加は、今後、「2ちゃんねる」などのインターネット掲示板や、「はてなブックマーク」などのソーシャルブックマークなど、他のプラットフォームでストックされているあらゆる情報を対象と出来るよう段階的に拡張していく予定です。

ネイバージャパンでは、今後も継続的にサービスの改善を行っていきながら、誰もが自由に、特定のテーマやコンテキスト(文脈)に応じて、あらゆるコンテンツを、収集・整理して共有できるようキュレーションプラットフォームの確立と拡大を行っていくことにより、「Yahoo!トピックス」型の従来のメディアでは得られない、ユーザーの「知りたい」という想いに応える総合的かつ多様な情報収集・探索の機会の提供を実現することを目指してまいります。

# 「NAVER まとめ」リニューアルの概要

## 1. 「まとめタイプ」が廃止され、あらゆる情報を自由にまとめることが可能に

これまでまとめ作成にあたり“リンク集”や“画像集”、“動画集”など「まとめタイプ」（まとめる情報の種類・形式）を事前を選択する「1まとめ=1タイプ」という制限がありました。今回のリニューアルを機に「まとめタイプ」を廃止。これにより、ユーザーが、一つのまとめの中に画像や動画、リンク、テキストなど、あらゆる情報を制限なく自由にまとめることが可能になりました。

### リニューアル前のまとめ（リンク集）



### リニューアル後のまとめ



## 2. マイクロブログ「Twitter」の発言もまとめることが可能に

今回新たに、Twitterの発言もまとめることが可能になりました。NAVER まとめ作成画面上にて、任意のキーワードもしくはTwitterユーザー名で検索し、検索結果リスト上でまとめたい発言を選択していただくだけで、簡単にまとめを作成することができます。

### まとめ作成画面



### まとめ作成結果



